

令和4年7月 1日(金)

あさひの日だまり

NO.12

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

大切なお願いをします

日頃より、感染症防止へのご協力をいただいていることに心から感謝いたします。

各ご家庭に次の2点に関してお願いします。

- 1 梅雨が明け夏本番です。児童の登下校時も大変高温となっています。現在、多くの児童が、マスクを着用したまま汗をかきながら赤い顔をして登校してきます。「学校へ着いてからマスクをすればいいんだよ」と声がけをしたり、クラスでも、熱中症対策として登下校時にはマスクの着用の必要がないことを話したりしていますが、なかなか徹底できずに児童には申し訳なく思っております。学校でも登下校時にはマスクを外すように声がけをしていますが、各ご家庭におかれましても、朝家を出る際に、ポケットなどにマスクを入れて登校するようにご配慮いただけますと幸いです。ご家庭によっては感染対策として登下校時もマスクの着用をお考えになる場合もあると思いますので、マスクを取ることを強制するものではございませんが、そのような場合も「途中で暑くて苦しくなったらすぐにマスクは外しなさい」ということだけはお子様に伝えておいていただけますようお願いいたします。
 - 2 ご家族の中にかぜ症状の方がおいでになる場合は、児童の登校を控えていただけますようお願いしているところですが、児童の安心安全な学校生活のために、引き続きご協力いただけますようお願いいたします。
- ※ 今後も、感染症等に関して心配なことや相談したいことがありましたらご遠慮なく学校までご連絡くださいませ。

～祖父母参観日ありがとうございました～

お孫さんニコニコでした

祖父母の皆様、保護者の皆様、25日の土曜参観日の際には多くの皆様にご来校いただきました。本当にありがとうございました。児童も、ご家族の参観をとっても楽しみにしていましたし、祖父母の皆様にも「家は辰野町じゃないんだけど、今日は孫の勉強している様子が見られて本当にうれしかったよ」とか「この歳になって学校へ入って孫の勉強している姿が見られるなんて思いもしなんだよ」というお話をさせていただきました。参観時間を1時間に限定しての参観日であることを心苦しく思っていたのですが、お孫さんやお子さんの姿に触れて、笑顔でお帰りになるご家族の表情を見られて、私も本当にうれしかったです。

先日、来校いただいた祖父母の一人から一通のお手紙をいただきました。その中の一文に次のように記されておりました。それは、「・・・孫は命の宝くらい大事です・・・」という言葉でした。ご自分の命のようにお孫さんの命が愛おしく大切であることがひしひしと感じられる一言です。お手紙の主のお孫さんのにこやかな表情が、手紙の文面の上に思わず浮かんで見えました。私たち学校職員は、目の前の子どもの後ろには、この子を命ある宝物のように大切に考えているご家族がおいでになるということを肝に銘じ、日々児童の前に立たなくてはならないと思いました。

ご来校いただいた祖母の方から「今度は運動会も皆見に来られるようにしてほしいな」というお話もいただきました。お気持ちよくわかります。次の運動会の折には、お子様や、お孫さんの成長を楽しみにしておられる皆様全員の自由なご来校ができる良い方法がないものか、学校としても方法を検討してまいります。

～地区懇談会お世話になります～

児童が地域の素敵な部分を発見できますように

本日は地区懇談会が行われます。夕刻6時の開催ということで、1日のお仕事のお疲れのところ本当にありがとうございました。夏休みは、児童たちにとって、「この地域は本当に素敵なおとこだ！」という発見をする絶好のチャンスです。その経験は、児童が成長したとき「生まれ育ったあの場所で暮らしたい」という思いに通じていくに違いありません。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ、児童たちにとってこの夏休みが、かけがえのない思い出作りの機会となりますよう、お力をお貸しください。